

事務事業名	マイチャレンジ推進事業（社会体験学習事業）				担当	教育委員会 学校教育課 学校教育係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-83-8181		
施策名	2	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	マイチャレンジ推進事業実施要項					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 H14 年度～）		
予算科目	1.一般会計	10.教育費	3.中学校費	2.教育振興費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	職場体験等を通して、中学生に共に生きる心や感謝の心等を育み、主体的に自己の在り方や生き方を見つめさせる事業。 ・対象 中学2年生全員 ・内容 希望する体験活動ごとに班を作り、連続する3日間受け入れ先事業所に行って、1日6時間を目安に体験活動を行う。 H12・13山前中学校が県の指定を受けて実施 H14年度から市内6校で実施 H18から市単独事業として実施 交付金を各中学校に交付（1学級15,000円） 傷害保険、賠償責任保険の保険料は市で負担							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 23年度実績 市内9中学校の2年生797人のうち、病欠等を除いた779人が、市内の事業所261事業所で社会体験活動を行った。 年度初めに、打ち合わせ会議を実施している。 中学校の請求により交付金を交付する。 24年度計画 昨年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
	ア	参加者数	人	691	796	754	779	779	
	イ	受入事業所数	箇所	247	310	278	261	261	
	ウ	交付金額	千円	345	390	375	405	405	
	エ								
	オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市内中学2年生全員	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
	ア	中学2年生の在籍者数	人	711	801	770	797	806	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 職場体験等を通して中学生に共に生きる力や感謝の心等を育み、主体的に自己の在り方や生き方を見つめさせる。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
	ア	共に生きる力や感謝の心が育まれた中学2年生の数	人	691	796	754	779	806	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 社会体験を通して倫理観や正義感、礼儀、責任感、感謝の気持ち等を身につかせ、こころの教育を推進する。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
	ア	礼儀、責任感の気持ち等を身につけた中学2年生の割合	%	100	100	100	100	100	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
(2) 総事業費の推移		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	596	662	635	673	0
			事業費計(A)	千円	596	662	635	673	0
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0
			延べ業務時間	時間	40	40	40	40	0
			人件費計(B)	千円	167	162	171	170	0
			トータルコスト(A)+(B)	千円	763	824	806	843	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成12年度から栃木県教委実施の「中学生マイチャレンジ事業」の導入による。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	当初は、モデル事業として山前中学校が2年間実施し、14年度からは全校で実施し、学校や家庭及び事業所、地域の理解、協力を得られるようになってきている。 H14年度までは連続する5日間実施。 H15年度からは、事業所の負担軽減等のため3日間に短縮して実施。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	社会性や、礼儀が身についた（学校、保護者等）。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 人間形成に必要な基礎・基本を身につけた、人間性豊かな生徒の育成につながる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 心の教育を推進することは市の施策である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 中学2年生の全員を対象とする事業であり適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 多くの事業所で協力を得られ、中学2年生の職場体験に効果を上げている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 中学生の社会体験活動の機会を逸してしまうことになる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 本事業に係る経費は、活動記録作成費用(交付金)であり、いずれも事業実施に最低限必要な費用である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 実際の運営主体は各中学校であり、市の事務は主に打合せ会議開催及び保険料・交付金の支払い業務等である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市内中学2年生全員を対象とした義務教育一環の事業である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							